

予算は約 340 億円

会計別予算額と前年度比較 (金額は千円以下を四捨五入)

会 計 名		22年度当初	21年度当初	増減率
一 般 会 計		199億3,000万円	211億6,000万円	△ 5.8 %
特 別 会 計	国民健康保険事業（事業勘定）	41億8,830万円	40億6,446万円	3.1 %
	後期高齢者医療	4億2,463万円	3億9,513万円	7.5 %
	老人保健医療事業	303万円	582万円	△ 47.9 %
	介護保険（介護サービス事業勘定）	1億8,377万円	3億2,477万円	△ 43.4 %
	介護保険（保険事業勘定）	27億7,902万円	26億4,994万円	4.9 %
	簡易水道事業	9億5,200万円	8億3,810万円	13.6 %
	下水道事業	27億5,900万円	32億4,790万円	△ 15.1 %
	国民健康保険事業（診療施設勘定）	3億6,651万円	4億1,809万円	△ 12.3 %
	下呂財産区	712万円	2,462万円	△ 71.1 %
	竹原財産区	財産区の財産を各地縁法人へ移管したため廃止となりました。	64万円	皆減
企 業 会 計	上原財産区		105万円	
	中原財産区		138万円	
	金山町金山財産区		36万円	
	金山町下原財産区		806万円	
	金山町東財産区		14万円	
小 計		116億6,338万円	119億8,044万円	△ 2.7 %
企 業 会 計	水道事業	6億0,415万円	9億9,963万円	△ 39.6 %
	下呂温泉合掌村事業	3億7,933万円	4億8,974万円	△ 22.5 %
	金山病院事業	14億0,898万円	13億8,565万円	1.7 %
	小 計	23億9,247万円	28億7,503万円	△ 16.8 %
合 計		339億8,584万円	360億1,547万円	△ 5.6 %

総額で前年比5・6%減に

将来を見据え

『選択と集中』

平成22年度予算が決まりました。一般会計は199億3千万円で、前年度当初比5・8%減。2年連続で予算規模が縮小となりました。特別会計・企業会計を合わせた予算総額は、339億8584万円（同5・6%減）です。

市税の減少や地方交付税の特例措置終了など将来の財政を見据え、歳出削減に努める一方で、22年度から5年間の「第一次総合計画後期基本計画」や行政改革の実施計画策定に基づく「合理化計画」に沿って、選択と集中を図り、予算を編成。子育て支援や観光施策に重点配分しました。また、「安心・安全なまちづくり」「元気なまちづくり」「信頼できる市政運営」を施策の柱に「元気な下呂市を持続させるための予算」としました。

平成 22 年度下呂市

用語解説

【一般会計】市の基本的な事業に関する会計です。

【特別会計】特定の事業を行う場合に、その経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づいて設置している会計です。

【国民健康保険事業特別会計(事業勘定)】市が保険者となって運営する国民健康保険事業を運営するための会計です。

【後期高齢者医療特別会計】75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度を運営するための会計です。

【老人保健医療事業特別会計】後期高齢者医療制度のスタートにより役割を終えた老人保健医療を整理するための会計です。

【介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)】小坂老人保健施設の運営と、居宅予防サービス計画を行うための会計です。

【介護保険特別会計(保険事業勘定)】市が保険者となって運営する介護保険事業を運営するための会計です。

【簡易水道事業特別会計】給水人口が5,000人以下の水道事業を運営するための会計です。(市内に25施設)

【下水道事業特別会計】下水道事業を運営するための会計です。(市内に21施設)

【国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)】小坂診療所を運営するための会計です。

【下呂財産区特別会計】下呂財産区の財産を管理するための会計です。

【企業会計】独立採算制を原則とする企業的な性格を持った事業を行う場合に、地方公営企業法の適用を受けて行う会計です。

【水道事業会計】給水人口が5,001人以上の水道事業を運営するための会計です。(旧下呂町の下呂地区)

【下呂温泉合掌村事業会計】下呂温泉合掌村を運営するための会計です。

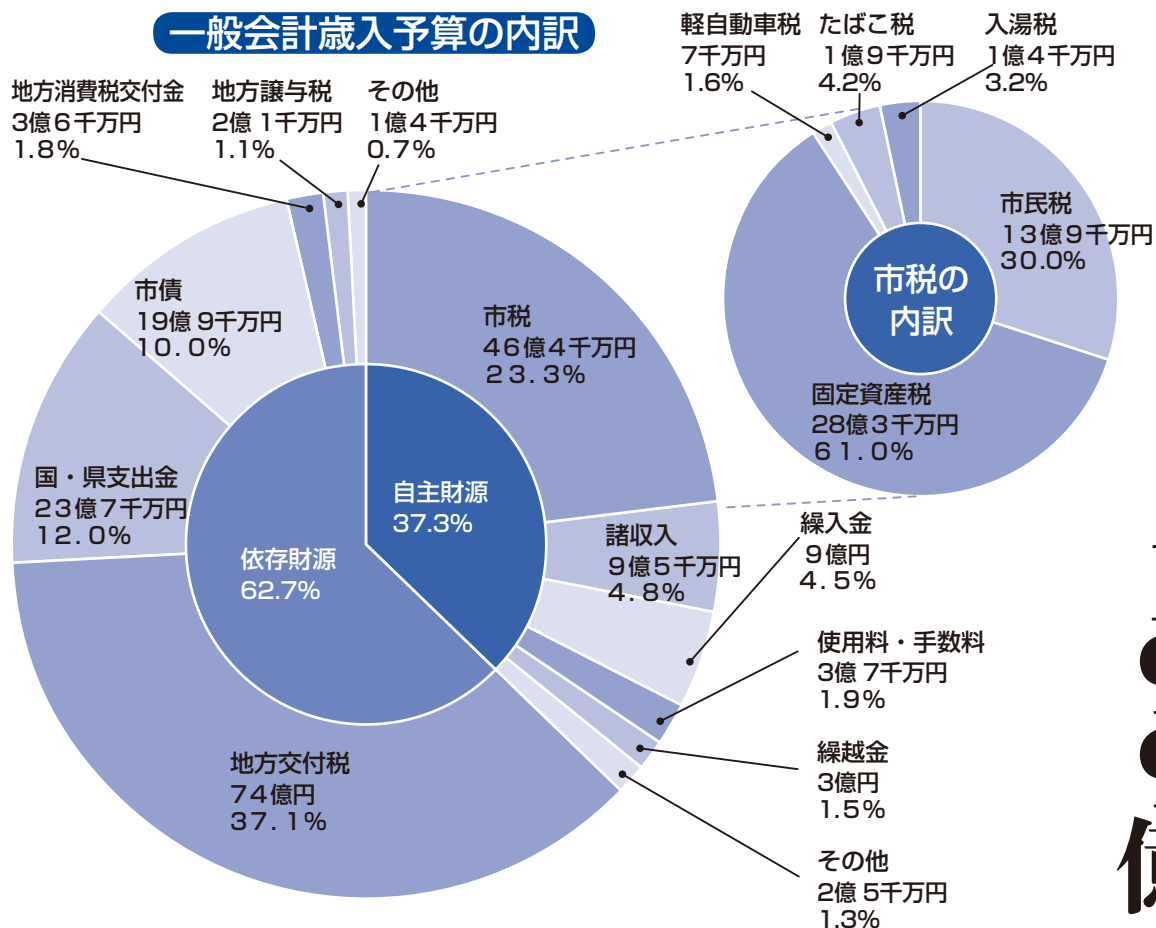
【金山病院事業会計】金山病院を運営するための会計です。

子育て支援や 観光施策に重点

市立新金山病院の平成24年後半の開院を目指し実施設計に着手します。子育て支援では、第3子以降の保育料の無料化、水疱瘡^{みずぼうそう}・おたふくかぜのワクチン接種や子宮頸がんワクチン接種への助成を新規に実施します。また低所得世帯の高校生を対象にした育英資金を新設します。

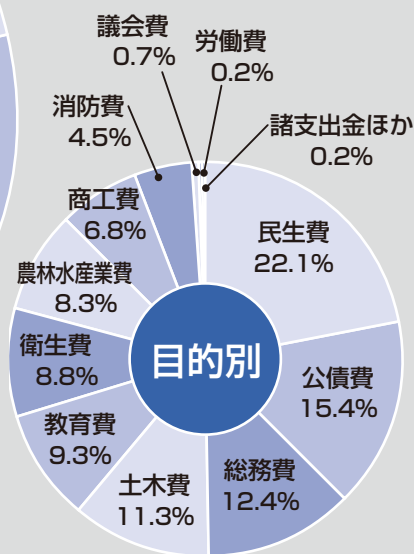
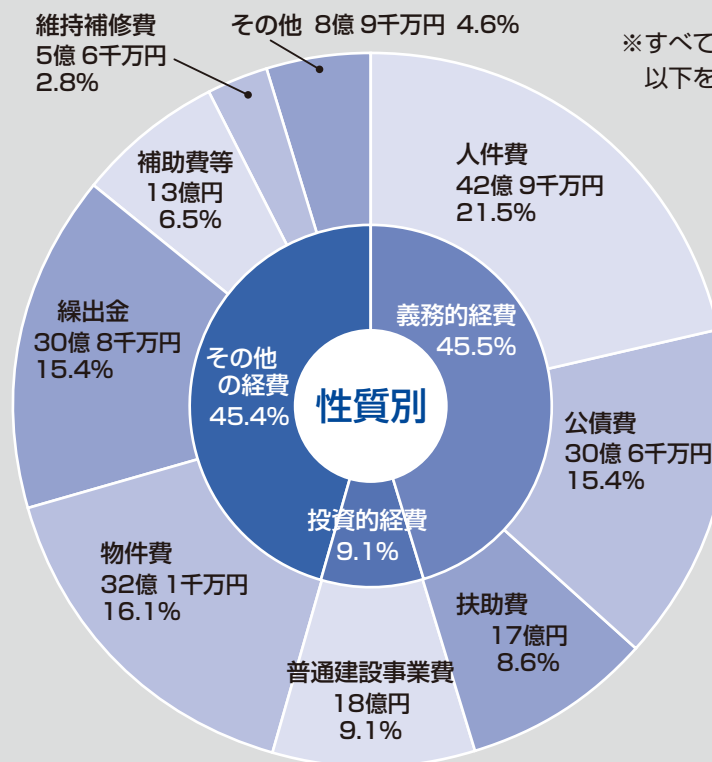
学校の耐震補強事業では、引き続き下呂小学校校舍改築事業に取り組むほか、新たに竹原小学校の実施設計に着手します。厳しい地域経済に配慮し、中小企業支援策として融資制度の充実や雇用促進奨励金制度を創設、失業者対策として雇用創設事業を実施します。150万人誘致を目標にコンベンション事業の強化や誘客宣伝など観光振興施策を積極的に進めていきます。また、国内の観光客誘致を強化するために名古屋事務所に続き東京事務所を設置し、職員1人を配置します。

一般会計歳入予算の内訳



一般会計の総額は
199億3千万円

※すべての円グラフで、金額は100万円以下を切り捨てています。



一般会計歳出予算の内訳

歳入

一般会計の歳入を性質別にみると、自主財源が37・3%に對し、依存財源は62・7%となります。

自主財源の根幹となる市税は、景気低迷の影響で個人市民税で13・3%減、法人市民税で26・2%減の大幅な落ち込みを見込み、市税全体で前年度より3億2千万円（6・6%）の減を見込んでいます。

地方交付税は地域活性化・雇用等臨時特例費が設けられることから前年度より1億5千万円の増額となりました。

国・県支出金では国の子ども手当分（4億4千万円）が増加

用語解説

【歳入】 1年間のすべての収入

【自主財源】 自前で収入できるお金

【依存財源】 国や県から交付されたり、借り入れたりしたお金

【繰入金】 各種基金を取り崩して繰り入れたお金など

【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金

【市債】 公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金

【国・県支出金】 国や県の決めたルールにあった仕事をする場合などに、必要な費用の一部または全部が補助されるもの

【地方譲与税】 国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金

【歳出】 1年間のすべての支出

【義務的経費】 法令あるいは性質上、支出が義務づけられた経費

【投資的経費】 道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金

【公債費】 借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息

【扶助費】 生活保護費や障がい者への援助費など福祉のためのお金

【物件費】 委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費、修繕費など

【繰出金】 特別会計への繰出金

【補助費等】 各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など

【維持補修費】 施設や道路などの維持補修にかかるお金

歳出

目的別にみると、子育て支援や中小企業、雇用支援施策、観光振興施策を重点的に予算配分したことから、民生費で5・2%、労働費で12・4%、商工費で65・3%の増となっています。

性質別では、人件費は職員数の減少等により前年度より2億2千万円（5%）減少。扶助費では、子ども手当の給付等により3億8千万円（28・9%）の増額となりました。借入金

の償還である公債費は繰上償還の実施や合併特例債の償還金が年々増えることなどで4億3千万円（16・8%）の増

額となりました。これらの義務的経費の占める割合は、45・5%で前年度より5・5%高くなっています。

投資的経費（普通建設事業費）は、大型事業の完了や国の補正予算に合わせ22年度予定の事業を21年度に前倒しで実施した影響などから、22年度予算では前年度より25億円（58%）の減となり、予算規模全体の縮小につながっています。

物件費では、下呂交流会館の運営・事業にかかる委託料や金山保育園の指定管理委託料などで2億3千万円（7・8%）の増加となりました。

元氣なまちづくり

道路・河川・都市計画・住宅施策

道路新設・改良	4 億 2,034 万円
乗政 7 号線、小川 2 号線など 7 路線	
橋梁長寿命化事業（橋梁点検 80 橋）	840 万円
★都市計画区域マスタープラン策定	802 万円
木造住宅耐震診断補助ほか	910 万円
市道補修事業	3 億 942 万円
舗装修繕、側溝修繕、落石防護柵修繕等	

観光振興施策

南飛騨下呂温泉コンベンションビューロー負担金	
1,200 万円を 3,000 万円に増額	3,000 万円
★観光戦略強化事業	9,800 万円
小坂の滝めぐりコース整備	1,030 万円
観光客誘致対策	1 億 746 万円
★国内観光客誘致促進事業	597 万円
名古屋事務所に続き東京事務所を設置	
★観光戦略基盤整備事業	800 万円
ふるさとの杜改修事業（下呂温泉合掌村）	6,000 万円

商工業の振興施策

事業者向け融資事業	6 億 9,304 万円
経営安定資金・小口融資資金原資預託金（4 億円の増）	

企業立地促進支援	1,412 万円
事業所の新設・増設・移設、新規雇用、初期投資に対する助成	
商店街空き店舗活用支援	227 万円

農業振興施策

獣害防除対策	657 万円
電気防護柵等設置助成、モンキー犬養成等	
★第 30 回豊かな海づくり大会サテライト会場経費	317 万円
★農業振興地域整備計画策定	367 万円
滝上牧場の整備等	1 億 254 万円
県営土地改良事業	9,476 万円

林業振興施策

間伐促進事業	1 億 7,280 万円
間伐材搬出利用促進	2,000 万円
★木質バイオマス利用促進事業	107 万円
条件不利森林公的整備緊急特別対策	286 万円

教育施策

ぎふ清流国体準備事業	879 万円
情報教育推進事業	5,235 万円
下呂交流会館の管理運営・イベント経費	
	2 億 3,731 万円

信頼できる市政運営

総合計画策定	126 万円
国勢調査	1,404 万円
指定管理者制度の導入（35 施設）	3 億 8,878 万円
市債繰上償還（一般会計）	3 億 2,221 万円

その他

廃止保育園の取り壊し（湯屋）	851 万円
濁河温泉スキー場施設撤去等	2,787 万円

合併特例債の使いみち（充当額）

滝上牧場整備事業	2,850 万円
小川 2 号線道路改良事業	1,060 万円
県道路改良事業負担金負担事業	1,900 万円
環境衛生施設整備事業	2,290 万円
下呂小学校校舎改築事業	2 億 6,780 万円
竹原小学校校舎耐震補強事業	940 万円

安心・安全なまちづくり

下呂温泉病院・金山病院への対応

- 県立下呂温泉病院跡地利用等のための積立 1 億円
★金山病院移転新築計画に伴う実施設計等 6,426 万円

福祉・健康医療施策

- あさぎりサニーランド等入所措置費 1 億 1,875 万円
市立老人ホーム施設整備 1,036 万円
かなやまサニーランド備品購入
休日診療所の運営 2,013 万円
予防接種の助成 4,109 万円
★母子家庭自立支援高等機能訓練促進費給付 174 万円
母子家庭の自立に向けた資格取得の費用を支援

教育環境の整備と子育て支援

- 下呂小学校校舎改築と耐震化 3 億 7,401 万円
★下呂小学校屋内運動場の耐力度調査委託 122 万円
★竹原小学校校舎の耐震補強計画及び実施設計 998 万円
小・中学校施設整備 2,084 万円
小中学校の特別支援教育学業支援員配置 2,237 万円
飛騨特別支援学校下呂分校通学バス委託 141 万円
妊婦健康診査の充実 3,259 万円
★子育て支援予防接種 1,320 万円
子宮頸がんワクチン接種、水疱瘡・おたふくかぜ等

環境衛生施策

- ★環境総合基本計画策定 860 万円
★環境衛生施設の整備計画の策定等 4,214 万円
★住宅用太陽光発電システム設置事業助成 480 万円

消防・防災・防犯対策

- ★土砂災害警戒区域等ハザードマップ作成 787 万円
消防詰所・消防機庫新築 2,609 万円
詰所（萩原・金山方面隊）、機庫（馬瀬方面隊）
防火水槽整備（小坂） 498 万円
消防・救急デジタル無線整備（実施設計） 369 万円
消防自動車等購入 1,564 万円
小型動力ポンプ積載車 2 台（小坂方面隊）
小型動力ポンプ（小坂方面隊 1 台・下呂方面隊 1 台）

水道・下水道事業

- 新浄水場建設（19～23 年度） 3 億 8,080 万円
水道施設遠方監視制御システム整備 6,515 万円
竹原地区水道施設機能強化事業等 1 億 3,330 万円
下水道施設整備 5 億 6,145 万円
下呂、萩原、竹原、金山処理区

平成22年度の主要事業

★は新規事業



市立金山病院小児科



平成21年5月28日から6月1日に行われた旅フェア（会場：横浜）



改築工事が進む下呂小学校